アコースティックバンド「テノヒラ」のボーカル　愛南町出身のkikuさんがつづるふるさとエッセイ

ーあいなん音故地新ー　上も下も前も後ろも

　しんどい日々が続いとった。頑張っても頑張っても実らんような、もがいてももがいても進まんような、そんな日々。前にここに書いたことがある『流れに身をまかせる』ということが性格上うまくできず、自分の進むべき方向はこっちやと決めつけて、流れに逆らって必死で泳いどったんやろう。この旅はいつ終えることができるんやろう、いつ終わるんやろうと毎日毎日考えとった。自分自身に課したことや自分への期待が能力に比べて高くなりすぎて、見当違いに頑張っとったんやなと思う。自分ではない何かを目指してしまっとったんやろうな。

　『何も咲かない寒い日は下へ下へと根を伸ばせ。』前に亡くなってしまった友人の座右の銘を思い出す。目先のことや華やかなことにとらわれず、身の丈を知り、焦らず、おごらず、けれど自信を持って。上も下も前も後ろも『歩み』には変わりない。もし私と同じように、やってもやってもうまくいかんわ…という方へ。今は流れに身をまかせて、下へ下へとぐんぐん根、はっちゃりましょや!!

　さて、そんな私（どんな私や？）が久しぶりに愛南町で歌います。6月28日（金曜日）諏訪神社の前にあるショットバーRain（レイン）にて午後7時から。ぜひ遊びに来てください。　（テノヒラkiku）

御荘文化センター図書室より

“6月の新着図書ピックアップ”の紹介

【絵本（刺繍）】
『やぎさんのさんぽ』
juno［ユノ］（作）
福音館書店（発行）

　子やぎが散歩に出かけて、とっとことっとこ走り出します。切り株を「ぴょん」と飛び越えると、ちょうちょが「じょうず」とほめてくれて、子やぎはうれしそう。ふわふわの毛並みの子やぎや、色とりどりの植物が刺繍で表現されています。糸と布で創り出された愛らしく美しい絵本。

【日本文学詩歌】
『シン・短歌入門』
笹公人（著）
NHK出版（発行）

　歌を作るには何から始めたらいいですか？、初心者が覚えるべき型のようなものはありますか？、など、豊富なQ&Aと穴埋め問題ドリルで、ステップアップしながら作歌のコツを体得できます。Q&Aは初級、中級、上級と分かれていて、すでに短歌を始めてある程度たっている方にも参考になります。

　御荘文化センター図書室では、毎月「御荘文化センター図書室だより」を発行しています。
　図書室だよりを通じてピックアップ図書以外の新着図書情報やそのほか新しい情報を皆さまに発信しています。町のホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。

愛南町ホームページ